

JAピンネ 浦臼町クリーン米生産組合

特別栽培米 ふっくりんこ



令和5年10月24日

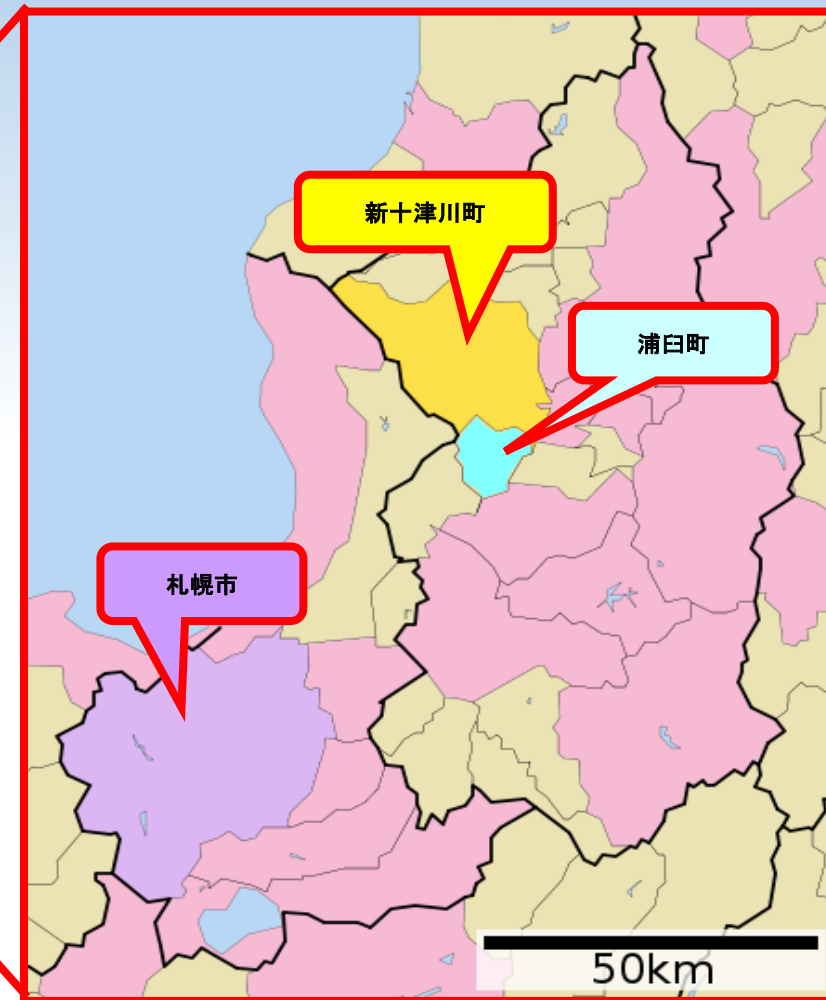
ご 提 案

○部会名	JAピンネ 浦臼町クリーン米生産組合
○品種	ふっくりんこ
○栽培方法	特別栽培米
○農薬成分使用回数	11回以下
○化学肥料使用量	5kg/10a以下
○出品数量	85俵

J A ピンネ

秋収穫前風景

ピンネシリ



町の基礎データ

(R 5.5 月末現在)

町	人口(人)	面積(km ²)
新十津川町	6,372	495.47
浦臼町	1,616	101.83
合計	7,988	596.70

北海道米「ふっくりんこ」

ふっくりんこサミット公認マーク

北海道内の4つ生産者組織が集い、「ふっくりんこ産地サミット」が毎年開催。サミットで締結された厳しい品質基準をクリアしたお米には、品質へのこだわりの証として公認マークが付けられます。



浦臼町クリーン米生産組合(平成28年設立)

令和5年度組合概要

構成員 : 15名
作付品種 : ふっくりんこ、ゆめぴりか
栽培方法 : 特別栽培米
作付面積 : 26.47ha

4年産『特別栽培米ふっくりんこ』実績

作付面積 : 19.57ha
出荷俵数 : 1,754俵 (基準品率100%)



良食味米の安定生産・環境保全型農業への取組み

クリーン農業の主な取組み

①特別栽培米（詳細、以下参照）

化学薬剤	慣行栽培	特別栽培米
化学農薬※	22成分	11成分以下
化学肥料	10kg	5kg以下

※化学農薬の使用成分数

田んぼの生き物調査(クリーン水田の証明)



※「北海道新聞」記事

浦臼町クリーン米生産組合は、

環境負荷軽減に向けた農業を実践しております。

土壌分析結果に応じ、有機質肥料・化学肥料の施肥方法を考え
徹底した土壌の管理を行っています。

15 陸の豊かさも
守ろう



土壌分析センター



農薬選定・面積会議

浦臼町クリーン米生産組合の活動



生育調査

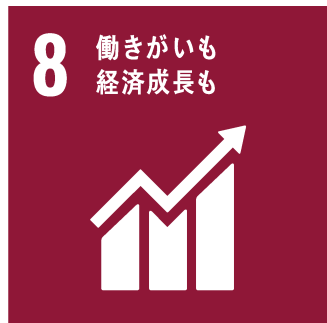


幼穂形成期判定会



出荷反省会

浦臼町クリーン米生産組合は、より良質な栽培を目指すことを目的に
水稲生産技術の修得、品質向上に関する研究、
各種情報交換、販売促進等を行っております。



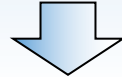
@JAPINNE.URAUSUCLEAN

生育・農作業情報を [instagram](#) にて公開中！！
浦臼町クリーン米生産組合で検索！

地域農業の問題に対する新たな取組みについて

地域農業における特に大きな問題点

- ・ 農業者の高齢化や農家戸数の減少、担い手不足の深刻化（農地流動化に大きく影響）
- ・ 大規模経営や法人化といった経営体の変化に伴う労働力不足の深刻化



令和5年産では、構成員による密播中苗（高密度播種）の試験栽培を行っており、今後の省力化栽培に向けて取組みを進めております。

日本の農業を変える

しんとつかわの

スマート農業

技術の開発・

実証プロジェクト

高品質・良食味米生産を目指す
家族経営型スマート農業一貫体系の実証

Shintotsukawa smart-agriculture

農業新時代

本プロジェクトは、水稲栽培の耕起・播種から収穫・乾燥までの全作業をスマート農業の先端技術を活用し、実現する今年度から3か年の事業です。

高品質・良食味米生産を目指す！

家族経営型スマート農業一貫体系の実証！

「新し津川町スマート農業推進コンソーシアム」を設立し、実証農場である自営農園を中心に取り組みます。本町は農家の皆さんの努力により、北海道有数の米どころとして高品質・良食味米生産に取り組んでいますが、農家の高齢化などにより農家戸数が減少し、1戸あたりの経営面積の大幅縮小が避けられません。農家アンケートでは、将来的に約30ha規模の経営が予測されています。本町の農家のほとんどが家族経営であることから、家族経営をモデルとした規模拡大と高品質・良食味米生産を軸に、30haを見据えた大規模水田をスマート農業の先端技術を利活用することで、プロの農家の優れた技術とデータ化し、若く経験の浅い人も活用できるスマート農業技術体系の確立を目指します。また、このプロジェクトを行政、JA、町内農業関係団体が一体となった「オール新し津川」で取り組み、スマート農業技術の普及・推進活動を展開していきます。

クボスマートアグリシステム(KSAS)

※播種の前後が確かな農薬散布をサポート

【農薬散布作業がー】
KSASの農業機械と一緒に無線LANにより、GPSを自動制御する。農作業機械の作業履歴や圃場の収量・品質を記録し、作業履歴の品質向上に貢献する。

Shintotsukawa smart-agriculture

センシング用ドローン

小型ドローンにより全圃場の生育状況を撮影し、生育を監視する。生育メッシュマップによる圃場間や圃場内の生育バリエーションを可視化し、生育診断や圃場効果検証のための品質向上に役立ちます。

自動運転トラクター

高精度GPSと自動運転技術により、無人での自動運転が可能。無人トラクターと有人トラクターを同時に使用し、無人での作業を実現。有人運転のハンドレール操作が不要な自動運転モードで作業し、従来の作業に比べて作業効率を向上させる。作業時間4割の削減！

直進アシスト田植機

GPSの自動制御を利用して、スタートアップを自動で実施し、直進する。ターン時に進行方向がずれないようにGPSで検知され、GPSで自動で修正。GPSの位置情報から幅寄せ位置を修正して設定した幅で播種できる。また、スプリングによる施肥量のばらつきをなくし、均一にすることで安定した品質向上を実現する。

自動給水装置(田門)

水田の自動給水停止(閉門)制御。作業可能な14畝の水田で実証する。

水田センサー気象センサー

水田にセンサーを設置し、水田・気温・湿度・土壌水分をリアルタイムでスマホで確認可能。通信費削減。毎日5分程度の作業時間4割の削減！

農業用ドローン

1フライトで最大1haの散布が可能。散布履歴を記録する事で、履歴と位置が使用できる。

自動運転アシストコンバイン

GPSを利用して、自動走行による入り取りが可能(オペレーターは歩費)。タンク内のもみ残量から最適なタイミングで排出ポイントに移動。もみ排出機、自動アシストにより最終で刈取位置まで移動する。収穫作業時に50%削減で収穫・運搬作業が楽になる。

調製施設

浦臼町ライスターミナル

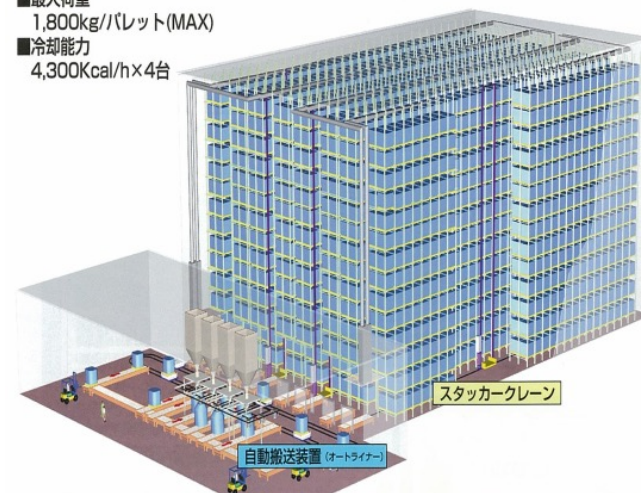


収穫後、施設に運び込まれた原料は、異物除去等の調製を行い、均一な品位に仕上げられます。ラック倉庫の設備により顧客ニーズに合わせた、きめ細やかな仕分対応が可能です。

施設	荷受形態	処理能力	色彩選別機 (異物除去)
浦臼町RT	半乾籾 粗玄米	2,530ト 7,000ト	240ch×3基 (28年度) 120ch×3基

米低温自動ラック倉庫

- ラック規模
16列×32連×14段=7,000棚
- 最大荷重
1,800kg/パレット(MAX)
- 冷却能力
4,300Kcal/h×4台



色彩選別機



低温貯蔵サイロ
(300ト×8基、浦臼町RT)

浦臼町RTラック倉庫

12 つくる責任
つかう責任



選ばれる米作りのために①

より高品質なお米を供給するため、
北海道内では1.85mmや1.90mmの網目が多い中、**1.95mm**での大粒調製を実施！

歩留まりよりも良食味を追究した、
食べ応えのある**ふっくりんこ**を
お届けいたします！



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



選ばれる米作りのために②

品位別仕分集荷の完全実施

～**オーダーメイドの米づくり**（タンパク・整粒）

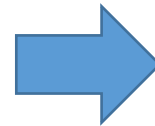
農家から搬入される米は品質にはバラツキあり！

いかに均質化し、指定される品位に仕上げるかが重要なのです！

①食味仕分

②整粒歩合による仕分

③1等基準に満たない品位仕分



1品種につき**35種類**以上の仕分

このきめ細やかな仕分と徹底した均質化で
お客様のニーズを叶えます！

これからも「**選んでいただける産地**」を目指して！

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

